

大石だより

第46号

☆★☆☆☆☆
1面 就労継続支援B型事業所管理者挨拶
2面 GGH・主任挨拶
3面 行事写真
4面 活動状況
研修報告他

前途多難な時を乗り越えて

就労継続支援B型事業所 管理者 大井宏征

今年の冬は、弘前市内は豪雪に見舞われ日常生活に大変な影響がでました。岩木山の麓にある大石の里でも例年以上の大雪となり、特に1月から2月は除雪作業に追われる日々が続きました。それでも、4月には徐々に雪解けが進み、降り積もった雪も日に日に少なくなってきました。そしてそれと同時に大雪による建物等の被害状況があらわになりました。建物の屋根や設備の配管等が雪の重みでつぶれたり、穴が開いたり、数か所の被害を確認しました。新年度早々の思いもよらぬ改修工事に少々気落ちしている今日この頃です。

また、ここ数年の物価高騰は収まる気配はなく、大石の里でもその影響は少なくありません。給食の食材料費や就労事業で製造する商品の原材料や資材等の価格高騰により、これまで維持してきた給食費や商品価格を維持する事が困難となりました。利用者様の給食費は4月より、商品価格は5月より値上げする事としました（何卒ご理解いただけますよう、お願いいたします）。

令和7年度のスタートと同時に「トランプ関税」が世界中を驚愕させ、見通しの立たない状況が続いています。新年度に向けた挨拶で利用者の方皆さんや職員に「みんな頑張っている年になりました」と伝えましたが、この先どのような影響があるのか予想もできず不安が先に立っています。

新年度は、このような不透明な状況での船出となりましたが、大石の里として利用者様に対する責任ある支援体制を整え、福祉事業所としての役割を踏まえ取り組みをこれまでと変わることなく提供し、更なる支援の質を高めるため努めてまいります。

利用者様、職員、そしてご支援頂ける皆様と、この難しい時代を乗り越え「明るい年」となるよう、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

新たな出会いが

グループホーム大石の里 主任 三上晃路

草木が芽吹き、敷地にあった残雪も少しずつ雪解けが始まり、外ではよく鳥の囀りも聞こえ、ようやく春が感じられるようになりました。

グループホームでは、この春1名の利用者様の入居があり、新しい仲間との出会いで良いスタートを切る事ができました。

グループホームの定員は20名で、入居される方は男性13名、女性6名となりました。当事業所は弘前市内より約30分、岩木山の近く、自然豊かな環境にあります。場所的に自由な買い物等は難しく、少し不便を感じる方もいるかと思いますが、反面、利用者様のなかには、静かで心落ち着く環境を好み、安らぐと安心感を抱いて生活している方もいます。

そのような利用者様の生活を少しでも豊かにするため、季節の行事開催の他、買物や受診、行政及び金融機関等の利用支援をほぼ毎月実施しています。しかしながら、全ての利用者様が満足しているとは限りません。事業所として、そのような思いを真摯に受け止めて、一人ひとりの利用者様に寄り添える支援ができるよう、心がけてまいります。

現在、グループホーム1室に空きがあります。生活の場としてグループホーム利用を希望されている方のご紹介をお願いしています。事業所の見学等随時受け付けておりますので、ご紹介いただければと思います。見学等で送迎が必要な方はご連絡ください。

まずは、電話にてお問合せ頂きたいです。
お問合せ先 グループホーム大石の里

担当 前田・三上
電話番号 0172(93)2110

グループホーム

避難訓練 & 消防訓練

3月下旬にグループホームで、避難訓練と消防訓練を行いました。避難訓練は毎年2回実施していることもあり、皆さんスムーズに避難されました。

消防訓練では消火栓を使用した放水訓練も実施。何名かの職員と利用者さんも放水訓練に挑戦しました。今回、初めて放水訓練を体験した利用者さんに感想を聞くと「放水の威力が凄かった」と話されていました。



就労B型作業

農産

春になり、ようやく施設屋上の雪も解け

ましたが、そのぶん溜まっていたほこりやゴミが一面に見えるようになりました。特に春先は風が強い日も多く、土ぼこりが舞うとなにかと厄介です。それを防ぐために環境整備作業の一環として、屋上の掃除を行いました。

枯れ草や土を集めて捨て、配管が詰まらないようにし、さらに水を撒いてブラッシング後に再び水を流して仕上げました。この季節はまだ風が寒いので、できるだけ晴天の日を選んで、風を通さない服装で作業に取り組みました。おかげで灰色の床がきれいなグリーン色に！利用者の皆さん、お疲れ様でした。



菓子

『弥生いこいの広場』が4月25日に開園しました。園内では今年もクッキーを

販売させていただくことになりました。ぞう・いぬ・くま・うさぎ・ひつじ・ペンギンの5種類の動物たちを型どったバタークッキーです。

できるだけ添加物は控え、原材料は小麦粉、砂糖、バター、マーガリン、玉子のみです(※プレミアムクッキーは力カオ豆も使用しています)。

ご来園の際には、どうぞお手にとってご賞味くださると嬉しいです。



2/26 温泉レク-花岡プラザ



(公式ホームページ画像引用)



浪岡の花岡プラザの温泉施設に行ってきました。温泉の浴場はとても広く、伸び伸びと過ごす事が出来ました。お弁当も美味しく頂きました。

4/25 弘前さくら祭り見物

天気がよければ、手作りのお弁当を公園で食べる予定でしたが、残念ながら雨のため、グループホームのホールでいただきました。皆さん大満足で完食されていました。



弘前城に着くと雨も上がり、散策する事ができました。焼きそばを買ったり、アイスを食べたり、皆さんそれぞれ楽しまれていました。





田中先生、これから よろしくお願ひします。

当事業所では、年に4回外部から講師を招いて利用者様の作業指導をスムーズに行えるように職員研修を実施しています。昨年度まで長い間ご指導いただいた加藤先生による研修が終了し、今年度から新しく弘前大学の田中真先生が来てくださることになりました。

田中先生は作業療法士であるとともに『青森いのちの電話』の活動にも積極的に取り組まれています。

そこで今回の研修では『いのちの電話と自殺を未然に防ぐゲートキーパーの基礎知識』を学習させていただきました。『心』の問題はデリケートな問題であり、ほんの些細な一言で傷

ついたり、救われたりします。どのように対応するべきか、寄り添うとはどういうことか。私たち職員もしっかり勉強していきます。

知らない
人のため

【いのちの電話】とは

いのちの電話は、孤独や不安で悩んでいる人のための相談ダイヤルです。1971年に日本で始まった市民活動で、現在は全国50センターで約5,800名の相談員が活動しています。

相談内容は家庭の問題、健康問題、経済・生活問題、男女問題、学校問題・・・等々、心配ごとや不安に感じている事なんでも相談できます。誰にも悩みはあるもの。一人で抱え込まないで、誰かに話すことが出来ればいいですね。

相談方法 電話・LINE・チャット

電話相談 0172-33-7830 あおもりいのちの電話事務局

相談時間 12時（正午）～21時（午後9時）

メールアドレス <https://inochi-a.net/contact/>

※お互い匿名で話し合い、秘密は必ず守ります。

新入職員の紹介



【※本人の強い希望でイラストで掲載しております】

- ①名前 竹谷静香 ②出身 弘前市
- ③趣味 韓国ドラマ鑑賞、料理
- ④好きな食べ物
茄子、うに、キムチ、餃子
- ⑤今がんばっている事
ピアノを両手で弾けるようになりたくて日々練習しています。
- ⑥一言
主に受診の付き添いをします。
よろしくお願いします。

＜編集後記＞

大石の里への通勤途中にいろんな動物に遭遇する日が増えました。うさぎ、狸、キジ、リス・・・最近はきつねも目にするようになりました。これから暖かくなってますます動物たちが活発に動き始めますが、熊とヘビにだけは会わないよう願うばかりです。

《ご意見・ご感想・お問い合わせ》

社会福祉法人みやぎ会 大石の里
住所：青森県弘前市大字百沢字東岩木山3138-2
電話：0172-93-2110
FAX：0172-93-2220
アドレス：oosi-jusan@sg-miyagikai.or.jp
機関紙名：大石だより 第46号
発行人：社会福祉法人みやぎ会 大石の里
編集員：生活広報委員会



大石の里では毎朝、SGグループの
理念を唱和し、業務に取り組んでいます。

＜SGグループ理念＞

私たちエスジグループは、
ホスピタル精神（おもてなし）をもち、
医療・福祉・保健を通じて
地域社会の人々の幸せに貢献します。
患者・利用者・ご家族に喜ばれ
感謝される素晴らしいホスピタル環境づくりと
ホスピタリティある仕事を徹底しておこないます。